



2025年度3年目看護師対象

「原子力災害医療基礎研修」報告書

3年目の看護師対象に『原子力災害医療基礎研修』を開催しました。

日程：2025年6月24日、7月1日、8月26日、9月2日 時間：8:15～17:15 参加者：88名



目的 原子力災害医療に関連する放射線の基礎知識を習得できる

- 目標**
- ①原子力防災体制、放射線の基礎、影響、防護、汚染検査、除染、安定ヨウ素剤、避難退域時検査、避難と屋内退避について理解できる
 - ②タイベックの着脱方法が理解できる
 - ③演習を通して除染の方法を実践できる

講義：原子力災害医療に関する基礎知識を学びました。

【講義内容】(245分)

- ①原子力防災体制
- ②放射線の基礎
- ③放射線の影響
- ④放射線防護
- ⑤汚染検査・除染
- ⑥安定ヨウ素剤
- ⑦避難退域時検査
- ⑧避難と屋内避難時の支援



当院は『原子力災害医療基幹病院』に指定されています。有事の際は当院に患者さんが搬送されてきます。平時から原子力災害医療に対する準備が大切です。



【講師】
放射線看護専門看護師
井手 貴浩さん



6西 中山さん 13東 平田さん
演習支援者2名参加



【講師】
放射線技師 岩竹 聡さん

演習：防護具（タイベック等）を装着し、放射性物質の汚染がある患者の対応を学びました。



更衣で90%汚染除去



患者への声かけは忘れない

【感想】一部抜粋

- ・原子力災害について長崎大学病院の役割がわかり、実際に学ぶことができてよかったです
- ・除染やタイベック着脱方法など体験できないことを実際に行うことができてとてもいい機会になりました。
- ・放射線の恐ろしさや私たちができる看護について学ぶことができました。
- ・いつ起こるかかわからない災害のため、日頃から清潔不潔の意識や自分の役割を考えて行動する必要があると思った。
- ・災害時には自信を持って看護ができるようになりたいと感じたので、もっと学びを深めていきたい

参加者の皆さま、お疲れさまでした!!
ぜひ、次のステップの中核人材研修にも
チャレンジしてください。

